

笑顔満ち 松陽生旅立ち



発行所
鹿児島県立松陽高等学校
新聞同好会
鹿児島市福山町573番地

祝 卒業特集号

- 1面…進路速報
合格の喜びの声
3年間の思い出調査
- 2面…芸棟の謎に迫る②
～美術科2階編～
冬季の松陽生の活躍
煌めく松陽生
「ザ・ショー・ヨーズ」
濱田藍華作最終回

Art Days アートな日々

VOL. 8

揺るがぬ



制作 若松ゆかりさん
(2-8 明和中出身)
県高校美術展で高校美術展大賞に輝いた洋画。将来に対する不安や周りの変化から、心配を表現する一方、周りにいる人々の心も表している。目標を持っていく。 (長野雄太・馬渡奏多)



これから社会へ踏み出す三年生の先輩方。新しい環境への期待や希望を抱く一方で、不安を感じている人も少なくないだろう。▼現代は、AIの発達やインターネット技術の進歩が急速に進んでいる。その一方で「AIに仕事を奪われるのではないか」という不安の声も広がっている。実際、コンビニのレジ業務や荷物の分けなど、単純作業の一部はすでにAIが進み、身近にその変化を目にする機会も増えている。こうした状況を見ている。こうした状況を見ている。こうした状況を見ている。

芸術の杜に息づく学び 絆を紡いだ3年間

令和5年度入学生が卒業式を迎えた。マスク越しの日々から表情の見える日常へ移り変わり、笑顔とともに多くの行事を取り戻した学年の特集号を編集した。



昨年9月の体育祭後の集合写真。松陽タイフーンや綱引きで最上級生らしい力を見せつけ、1年次からの3連覇を達成。団結力が際立ち、高校生活の集大成を感じさせた。

競争激化の入試 国公立大21名合格

2月20日現在、本校では国公立大に現役で21名が合格している。現段階での合格者としては昨年度より4名増だ。合格先は鹿児島大学10名、沖縄県立芸術大学2名、山口大学、福岡教育大学、金沢美術工芸大学、愛知県立芸術大学、広島市立大学、下関市立大学、北九州市立大学、宮崎公立大学、名桜大学である。

今年度の進路状況について、本校キャリアアドバイザー、市立大学、宮崎公立大学、名桜大学である。

進路速報

ス部主任の福田智行先生は「全国的に難関大学の倍率が上がり、それ以外の大学の倍率が上がっている」と話す。全国的な入試傾向については「共通テストの平均点が下がった影響で安全志向の出願が目立った。県内でも倍率が上がった大学が多く、例年より競争が激しい」とのこと。1・2年生には「学校推薦型選抜や総合型選抜を利用する生徒が全国的に増えている。そのため振り返りテストや期末考査にしっかり取り組むこと、英検などの資格取得、文章力や表現力を身につけることが必要だ。10年後の自分にとって良い選択ができるよう、早めの準備が望ましい」とエールを送った。



井之上沙弥さん
3-4 垂水中央

私は将来、データを通して社会に貢献できる人になりたいと考えています。進路に迷っていた時に下関市立大学を紹介していただき、調べうちに興味を深まりました。オープンキャンパスで模擬授業を受け、データサイエンスの魅力を知ることが志望の決め手です。小論文対策では過去問題を繰り返し解き、先生の添削で表現力を磨きました。進学後はデータ分析を基礎から学び、医療など幅広い分野で力を生かしたいです。



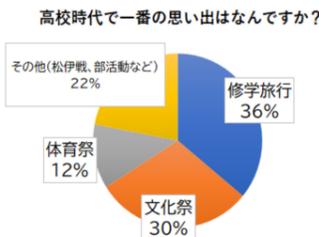
森梨世さん
3-8 開聞中

私は将来「寄り添うアートをテーマに、人や地域に温かさを届ける活動をしたい」と考えています。その夢を実現するため、学校推薦型選抜を利用して金沢美術工芸大学を受験しました。実技がない試験のため、自分の思いや表現の背景を丁寧に言葉で伝える準備に努めました。進学後は、芸術が社会にどのように関わり、力を持つのかを深く学んでいきたいと思っています。さらに、自分の表現を広げられる方法も探求したいです。

私は将来「寄り添うアートをテーマに、人や地域に温かさを届ける活動をしたい」と考えています。その夢を実現するため、学校推薦型選抜を利用して金沢美術工芸大学を受験しました。実技がない試験のため、自分の思いや表現の背景を丁寧に言葉で伝える準備に努めました。進学後は、芸術が社会にどのように関わり、力を持つのかを深く学んでいきたいと思っています。さらに、自分の表現を広げられる方法も探求したいです。

松陽の3年間の思い出を振り返る

今回は卒業特集号ということで、3年生の皆さんに高校3年間の思い出をアンケートで募集し、心に残っている出来事を探ってみました。



修学旅行

第1位は圧倒的人気の修学旅行。京都の歴史的建造物を巡ったり、USJを満喫したりといった王道の思い出が多く寄せられた。一方で、重いキャリーケースを持つ5階まで階段を上ったことや、外国人観光客に声をかけられて写真を撮られたことなど、非日常的な体験を挙げる人も多かった。また、新幹線で友達と話し

文化祭が上位

達成感を覚えたという意見が多かった。書道部や吹奏楽部は3年間の集大成を披露し、最高のパフォーマンスができたという声も寄せられた。第3位は体育祭。赤団の

3連覇という快挙に熱い思いが語られた。今年度の文系学年リレーで下級生に差をつけて勝利したことや、学年の団結を強く感じられたことを喜ぶ声が多かった。また、ウォーターバックリレーで転んで恥ずかしかったという苦い経験も、今では良い思い出に。3年間の学校生活には、仲間との時間が確かな彩りを添えていた。松陽での思い出を胸に、これからの道を力強く歩んでほしい。

「立野美吹・坂元咲愛」

※この新聞は学校の公式ホームページからバックナンバーを含めてカラーでご覧になれます。個人名横の学校名は出身中です。